

## 普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)11月7日

所属名：大津・南部農産普及課

番号：A23013

部門分類：430 地域・農村計画

発信者名：新谷

## 栗東市で担い手の意見交換会が開催されました

10月25日に栗東市で担い手の意見交換会が開催されました。担い手43名、関係機関10名が参加し、耕作エリアごとに6つのグループにわかれ、現在の地域の状況と理想とする農業の将来像について話し合いを行いました。

意見交換会は栗東市農業振興会の主催で行われ、認定農業者や集落営農組織、生産者団体など多様な担い手と農業委員が参加しました。関係機関として、市、農業委員会、JA、当課が各グループの話し合いのコーディネートや助言を行いました。

栗東市は都市化が進む地区と山間部が中心の地区が共存しており、それぞれで土地利用状況や営農体系が異なることが特徴です。話し合いの最後には各グループから発表が行われ、地域の現状として従事者の高齢化や後継者不足、収益性の低下といった共通の課題が挙げられるとともに、都市開発との調整に苦労する、獣害が増加しているといった各エリアならではの課題も共有されました。農業の将来像としては、経営体の広域化などにより地域全体で農地を守っていく体制が整っている、農地集約やインフラの修繕、高収益作物の栽培などにより担い手の経営が安定している、貸し農園などの都市型農業のスタイルが確立できている、山間地の美しい景観を後世に残す、といった前向きな意見も出されました。

当課は今後、関係機関と連携して、意見交換会で出された意見に加え、今回同時に実施している担い手を対象としたアンケートをもとに意見の集約をすすめ、担い手の意向が反映された地域計画が策定されるよう支援します。



話し合い・発表の様子